

議会だより

NO.19

 吉野川市



「ほのぼのとしたパレード(五九郎祭り)」住友 徳 (川島町)

目次

議長・副議長のあいさつ…P 2	議案の審議から……………P12
議会構成……………P 3	市民のページ……………P15
代表・一般質問……………P 4	市民の皆さんへの募集・クイズ…P16

■発行／吉野川市議会
■住所／〒776-8611
■TEL.(0883) 22-2241

■編集／議会広報特別委員会
徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1
■FAX.(0883) 22-2242

2009.8.25

改選後、初の定例会で正副議長 及び委員会構成決まる

議長あいさつ



議長
福岡 正

経済の活性化は焦眉となつております。

このような状況の中で、議決機関としての市議会の果たす役割と責任は益々重要になってきており、住民の代表機関としての市議会は、住民の皆様との多様なご意見をくみあげ、自治体の意思決定をする前提としての政策形成機能と執行機関に対する監視機能を更に充実強化していく必要があります。

市行政は議会と執行機関の両者の協同精神で進められるものであり、議決は執行のための手続き

や過程であり、離れすぎでは、適切な行政執行の正しい検証はできませんし、議会の使命である正しい批判と監視はできません。

私も議員は、常に執行機関とは一歩離れ、二歩離れない姿勢が極めて大事であると考えております。

議会運営につきましても、公正無私の立場で、円満のなかに議員各位が活発な活動ができますよう心掛けながら、市民の皆様への「声」に耳を傾け、市民、行政、議会が三者一体となり、山積す

る諸問題に取り組まなければならぬと考えています。

合併で生まれた新たな「吉野川市」の将来を展望し、夢と希望の持てる「市民が主役」のまちづくりに邁進していく所存でございます。

今後とも更なるご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

副議長あいさつ



副議長
山下 智

6月議会定例会において議会の構成が決定され、議員各位のご推挙をいただき、議長に就任することになりました。その重責を痛感し、誠心誠意努力いたす所存でございますので、皆様のご指

導ご鞭撻をお願い申し上げます。さて、吉野川市政を取り巻く情勢は大変厳しいものがあります。目前に迫った超高齢化社会への対応や子育て支援対策はもとより、行財政改革、

先月の6月定例会におきまして、副議長に就任いたしました。

その責任の重大さを痛感し、私に課せられた責務であります公正で円滑な議会運営のために、誠心誠意努力してまいり所存でございます。そのためにも、市民の皆様の声市政に十分反映させると

ともに、行政のチェック機能としての役割を果たしてまいります。

吉野川市は、平成の大合併、徳島県の第1号として誕生してから、10月で5年という節目を迎えます。激動の時代ではありますが、変化に的確に対応しつつ、市民の皆様とともに歩んでまいりた

いと思えます。

今後とも、市議会に対し、なお一層のご支援とご協力をお願いいたします。



委員
岸田 益雄



委員
榎納 謙司



副委員長
岸田 秀樹



委員長
玉水 好夫



委員
北川 麦



委員
山下 智



委員
福岡 正



委員
葉原 五男

(議席番号順)

総務 常任委員会

8名



委員
藤原 一正



委員
田村 修司



副委員長
相原 一永



委員長
細井 英輔



委員
岡田 光男



委員
川村 洋樹



委員
工藤 俊夫

(議席番号順)

文教厚生 常任委員会

7名



委員
後藤田哲夫



委員
枝澤 幹太



副委員長
塩田 吉男



委員長
河野 利英



委員
高木 純



委員
近久 善博



委員
増富 義明

(議席番号順)

産業建設 常任委員会

7名

議会運営委員会

委員長 近久善博
 副委員長 増富義明
 委員 細井英輔
 委員 岸田秀樹
 委員 玉水好夫
 委員 北川
 委員 高木純

議会広報特別委員会

委員長 岡田光男
 副委員長 川村洋樹
 委員 細井英輔
 委員 相原一永
 委員 榎納謙司
 委員 岸田益雄
 委員 岸田秀樹
 委員 近久善博

常任委員会担当部局

総務常任委員会
 総務部、防災局、市民部
 文教厚生常任委員会
 健康福祉部、教育委員会
 産業建設常任委員会
 産業経済部、建設部、水道部

各党派別名簿

薫風会

代表 河野利英
 副代表 工藤俊夫

麻植会

代表 藤原正樹
 副代表 後藤田秀夫

日本共産党

代表 高木純男

民主・市民ネットワーク

代表 北川洋樹
 副代表 川村

公明党

代表 相原一永

明光クラブ

代表 榎納謙司

市政クラブ

代表 増富義明

質問

代表・一般

ここが聞きたい

6月議会定例会では11名の議員が代表・一般質問を行いました。

●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

① 後藤田 哲夫 議員

● 医療に安心、安全のシステムは

○ 地場産業の育成と若者が定住できるまちづくりについて

② 河野 利英 議員

● 庁舎の統合について

○ 安心安全なまちづくりについて

○ 次代を担う子どもたちの育成について

○ 地域の活性化について

③ 高木 純 議員

● 住宅新築資金貸付制度の滞納状況について

○ 地域活性化・経済危機対策臨時交付金について

○ 臨時交付金の活用についての職員への周知は

● 住宅用防災警報器設置事業について

○ 緊急通報装置貸与事業について

一般質問

④ 榎納 謙司 議員

● 職員の資質向上について

○ 介護保険について

⑤ 栗原 五男 議員

○ 小学生の英語教育の考え方について

● 新型インフルエンザの対応について

○ 公用封筒の広告について

○ 耕作放棄地について

○ 企業立地について

⑥ 枝澤 幹太 議員

● CO2削減、環境対策について

○ 食の安全確保について

○ 幼稚園、小中学校の再編について

○ 小中学校の医療と補助について

○ 庁舎一本化について

○ 庁舎一本化について

⑦ 岸田 秀樹 議員

○ 環境を大切にす美しいまちづくりについて

● 安全、安心なまちづくりについて

○ 国の補助金・交付税について

○ 市税の滞納について

○ 入札制度について

○ 桑村川整備について

⑧ 田村 修司 議員

● 耐震診断について

○ 内水排水対策について

○ 温暖化防止について

⑨ 工藤 俊夫 議員

○ スポーツ施設の充実について

○ 庁舎一本化について

● 遊休農地の活用について

○ ゴミ袋について

○ 中小業者の振興について

○ 子育て支援対策について

○ 吉野川市環境対策について

○ 川田山辺地総合計画について

⑩ 岡田 光男 議員

○ 子育て支援対策について

○ 吉野川市環境対策について

○ 川田山辺地総合計画について

⑪ 藤原 一正 議員

代表質問

後藤田 哲夫 議員
(麻植会)

医療に安心、安全のシステムは

(質問)

市内病院のネットワーク推進を図る

(答弁)

質問 医療、保育、介護に、安心、安全が実感できるシステムづくりに真剣に取り組むべきだが、市内中核医療機関の救急指定病院、災害時県指定病院と高度に専門的な知識や経験が要求される等実施が困難を伴う治療を実施できる病院と市内各医院との連携について国立病院と協同病院が指定されているが、災害時また病気やケガ等した時すべての市民が平等に、高度医療が受けられるシステムづくり、市民の命を真剣に考えていくためには市民病的な考えも必要であり医療機器の助成制度も考えるべき

ついて子どもを安心して産み、預けられる体制づくりと少子高齢化対策の取り組みについて伺う。

健康福祉部長 18歳未満の児童が3人いる世帯で第3子以降の3歳児未満は保育料半額となっている。21年度から保育所に入所している児童が3人以上の場合は、第3子以降の保育料を無料とする軽減措置を行っている。保育料の軽減措置については、今後検討していきたい。

であり、保育についても将来に向かって子どもたちを安心して産み育てられる社会環境の整備、保育料の減額または無料化も考えるべき時期であるが伺う。

健康福祉部長 市民の方が迅速、安心かつ安全に、高度医療が受けられるシステムづくりのために、市内の中核病院と各医院とのネットワーク化推進が図られるよう努力していききたい。

本市としては、市民の安心、安全の医療提供のための努力をしたい。

再問 保育料介護等に



麻植協同病院

質問 市内に立地しようとしている企業があるが、市の考えは。

答弁 積極的に取り組んでいきたい。

[その他の質問]

河野利英 議員
(薫風会)

庁舎統合の進め方は

(質問)

市民の意見を聞き理解を深めたい

(答弁)

ホームページなどを通じ、市民の皆様の理解を深めていきたい。

再問 議会での議論が必要であるが、どのような計画を持っているか。

政策監 議会の方で議論を重ねていただきたい。

再々問 本市にとって大きな事業である。市長の意気込みを聞きたい。

市長 市役所機能を一元化し迅速な意思決定を行い、充実した市民サービスを提供するために理解をお願いしたい。

[その他の質問]

質問 安心安全の町づくりの取り組みは。

答弁 消防庁舎の建設に取り組む。

質問 乳幼児医療助成制度の拡大の考えは。

答弁 具体的に検討していく。

政策監 市民の理解が重要であると考えている。検討会での調査検討や議会での議論を踏まえ、地域審議会などで説明を行い、市民の意見を拝聴するとともに市広報誌やホ



庁舎増築が予定されている場所



高木 純 議員
(日本共産党)

住宅用防災警報器設置事業が進んでないが

(質問)

どういった方法がいいのか検討したい

(答弁)

質問 65歳以上の一人暮らし世帯が火災報知器を設置した場合に補助する制度を今年4月より始めているが、1000万円もの予算があるにもかかわらず進んでいない。1000万円なら1件あたりの補助金が3000円なので3000件の補助が可能だが、2か月でわずか50件しか申請がない。迅速に進めるため、高齢者世帯に直接働きかけるなど手続きを簡単にすることはできないのか。

健康福祉部長

住宅火災

による死者の約7割が逃げ遅れによるものであり、死者の半数以上が65歳以上の高齢者との統計もある。緊急性のある

事業と考える。平成19年度の福祉灯油費助成事業の対象世帯が3142世帯あったので、今回も同規模の対象世帯数と考える。事業の周知方法としては閲覧方式と市のホームページに掲載している。今後、老人会や婦人会などの各種会合時に周知を図りたい。

再問 申請方式ではなく、こちらから該当する世帯に働きかけることはできないのか。

再問 申請方式ではなく、こちらから該当する世帯に働きかけることはできないのか。

健康福祉部長

現在補助

事業として進めているが、どういった方法がいいのか今後検討したい。

一般質問



榎納 謙 司 議員

職員の資質向上は

(質問)

意識改革・能力向上に努めている

(答弁)

質問 今、本市にとって重要なことは、公務員としての意識の向上を図ること・部局間の連携による効率化・職員が能力を発揮できる環境づくりであるが、その考えと取り組みを伺う。

総務部長

職員一人ひと

りが全体の奉仕者としての強い倫理観と職責を自覚するよう、研修計画を策定し、計画に沿った人材育成に取り組んでいるところである。

県の滞納整理機構や市町村アカデミーへの派遣、自治大学校への研修への参加を促している。職員の能力と個性を十

分発揮できる環境づくりに取り組む必要があると考えている。

各部局内の連絡調整を行うため主管課制度を導入し、組織的な整備を図り、部局間連携の促進に努力したい。

再問

市役所は暇で、

楽な職場と感じている市民も少なくないことを知り、市長自ら率先し意識向上、能力が発揮できる環境づくりに取り組む必要があると思うが。

市長

地方分権の進展

で、地域間競争が求められており、人材確保・育成が重要となることか



栗原 五 男 議員

新型インフルエンザへの対応は

(質問)

行動計画に基づき対策本部を設置

(答弁)

質問 新型インフルエンザは現在フェーズ6まで引き上げられ、各地でもいまだに感染が確認されている。教育委員会として

各学校に対してその情報に従って対応するように十分指示したところである。各学校では保護者会を開き検討した結果、小学校7校・中学校1校が修学旅行を延期し、他3校については当初より秋に予定している。キャンセル料は小・中あわせて2校で170万円程が必要となっている。キャンセル料に対しては経済危機対策臨時交付金を利用したいと考えている。

教育次長

4月28日緊急

に部次長会を開き、対策行動計画を決定し、行動計画に基づき対策本部を設置。

今後は防災局が中心となり、情報収集に努め、具体的な対策を検討し、

答 弁 訪問を繰り返し、滞納額の減少に努めた。

質 問 住宅新築資金の貸付事業の滞納状況と回収の体制は。

【その他の質問】

住宅用防災警報器



熱式警報器



煙式警報器



庁舎内風景 = 市役所 =

ら、職員の意識改革・能力向上に努めているところである。

【その他の質問】

質 問 問題の多い介護保険に市民からの批判は

あるのか。

答 弁 問題を一つひとつ丁寧にクリアして、市民の方々が満足できる形をとっていききたいと思っている。

答 弁 バナー広告や広報誌の状況を見ながら検討を進めたい。

質 問 公用封筒に広告を入れて収入を得る考えは。

答 弁 すべての小学校において週1時間行っている。

質 問 小学校の英語教育への取り組みは。

【その他の質問】

質 問 企業立地の担当者を決めたが、その仕事内容は。

答 弁 企業立地や企業に対する奨励金の周知普及を行う。

質 問 耕作放棄地に対する対策は。

答 弁 戸別訪問するなど積極的に担い手への利用集積を推進したい。



庁舎玄関に置かれた消毒液



枝澤幹太議員

CO2削減について市の取り組みは

(質問)

小中学校に太陽光発電システムを設置

(答弁)

質問 地球温暖化や大気汚染が環境問題となり地球規模での対策が急務となっている。CO2削減や、それらに具体的に貢献できる環境対策として、市内の教育施設の一部で校庭の芝生化に取り組んだところである。一方、市民グラウンドの芝生化を望む声が市民から多く聞かれるが、その考えはないのか伺いたい。

設置できるよう計画書を作成し申請作業を進めている。

芝生化については地元有志や保護者の理解や協力で維持管理運営が将来にわたってできることを条件に今後推進していきたいと考えている。市民グラウンドについては、芝生の弾力性がスポーツ活動に安全性をもたらすことや砂じんの被害防止などメリットも考えられるので今後検討したい。ゴーヤの緑のカーテンについては、いくつもの学校で試行を始めている。

再問 太陽光発電、パネルの設置に対する市からの助成策は。

教育次長 市内小中学校に太陽光発電システムが



岸田秀樹議員

機能別消防団員制度の導入は

(質問)

導入には消防団の環境・要項整備が必要

(答弁)

質問 市長が定例議会で作成し申請作業を進めている。安全・安心のまちづくりを考えると、そのためには絶対に危険管理を念頭に置かなければならないと思う。総務省が21年度の重点施策の中で、地域に消防防炎情報の徹底的推進を提案し、地域における総合的な防災力の強化。特に消防団協力事業所表示制度・機能別分団員・分団制度の一層の活用・資機材の充実を提案しているが、本市の場合においては消防団員の定員は一部地域を除いて一応定数に達しているが、団員の職業の関係で夜間は居るけど昼間は居ないという形態が多くなってきた。しかし長年訓練・実践経験を積んできた団

員が順次退団していくのは惜しい。退団していく人材の活用のためにも改めてその人々を呼び戻して、機能別分団員としてサポートしてもらおうということを考えたらどうか。

防災局長 消防団は地域防災体制の中核的存在として大きな役割を果たすことが市民から最も身近な防災機関として信頼と期待をされており、また本市も消防団員数の減少という課題に直面しており、市としては多くの市民が消防団に参加しやすい環境をつくるために機能別消防分団員の制度の導入を考えているが、そのためには環境整備、特に活動内容及び範



田村修司議員

国の補助金・交付税の獲得は

(質問)

国への申請へ向け調整中

(答弁)

質問 国の緊急危機対策として、平成21年度補正予算において1兆円の地域活性化・経済危機対策臨時交付金や1兆3790億円にのぼる地域活性化公共投資臨時交付金が創設されており、特に前者においては、公立学校などへの太陽光パネルの設置、自治体の公用車の環境対応車への買い替え、保育所施設の整備、介護施設の緊急整備、消防防災資機材の整備、緊急救助体制の整備など住民の暮らしに密着した事業に対して交付されている。本市では、国や県が用意する補助事業に対して何か申請やそれに関わる準備をしているのか伺う。

総務部長 学校のデジタルテレビや電子黒板の導入、消防ポンプ自動車の購入や庁舎の冷暖房システムの整備などを検討中。

再問 本市の自立性を高めるためには、依存財源に過度に頼ることなく、自主財源の確保による歳入自治の強化が必要と考え、そのための努力こそ、今自治体に求められていると考える。収益事業として、ネーミングライツやホームページ、公共交通・公用車における広告など、今ではどこ自治体も取り組んでいるところだが、本市では、歳入増に何か独自の努力をされているのか伺う。



太陽光発電パネルを設置した建物

環境局長 現在個人への補助制度はないが、国策としての制度の進捗状況を見ながら、今後の課題としていきたい。

再々問 市長のマニフェストの中にも校庭の芝生化をモデル的に推進したいとあるが。

市長 子どもたちの体力づくりの一環として、コミュニケーション意識の醸

成にも期待できることから、モデル的に学校の芝生化を行い十分検証していきたい。



機能別消防団員とは、

能力や事情に応じて特定の活動にのみ参加する消防団員のことである。

代表例としては、消防団員や消防吏員の経験者が、消防団員の育成指導を実施する「指導者団員」、**火災時の後方支援活動や大規模災害時の災害活動を実施する「OB 団員」**、専門的な知識を有する大学の職員などが、消防団員に専門的な技術や知識を啓発する「危機管理アドバイザー団員」、婦人防火クラブなどが、火災予防の広報活動や防災意識向上のための宣伝活動を実施する「女性消防分団」などが挙げられる。

近年の人員不足の影響で、昼夜を限定した活動や特定の災害種別により活動し消防団活動を補完する役割を期待されている。



囲・階級の位置づけ・運営にかかる経費・公務災害補償等それにかかる予算処置も検討しなければいけないので消防団役員会で協議をしていきたい。

再問 考える、検討するではなく、早急に立ち上げなければ市長の言っている、市民の安全・安心を守ることができない

のではないか。これには予算等が絡んでくるが、防災の最高責任者である市長としては、早急に立ち上げるように防災局に指示を出すのか。

市長 機能別消防団員の制度の導入については、消防団本部役員等で、協議を進めていきたいと思っている。

総務部長 行革の着実な実施、自主財源の確保、事務事業の取捨選択等を行い、健全化に努めている。また、ホームページや広報誌についても広告募集を行っている。



林道倉羅樫平線開設工事

【その他の質問】

質問 市税の滞納状況は。

答弁 滞納は、市民税約3100万円、固定資産税約7千万円、軽自動車税約410万円となっている。

伺う。

答弁 副市長を会長とする物品購入等審査会を設置し、毎月定例的に開催している。

質問 桑村排水機場の完成に伴う桑村川の整備は。

答弁 県をはじめ関係機関と協力して要望した

質問 入札制度について物品購入に関わるルールづくりはできているか



工藤 俊夫 議員

耐震診断・工事の状況と計画は

(質問)

速やかに改修するよう努める

(答弁)

質問 本市でも『安心・安全なまちづくりプロジェクト』を展開、旧建築基準法によって建てられた学校施設の耐震診断を

行い、避難場所の機能を強化する、としている。

市内には、幼稚園24棟、小学校81棟、中学校29棟、計134棟の学校施設があり、そのうち耐震診断が必要な建物は35棟である。そこで次のことについて伺う。

①診断結果の詳細な説明について。

②文部科学省基準で耐震性がないとされている1.5値0.7未満の施設の具体数値を施設ごとに伺う。

③0.7未満で説明のあった各学校施設の耐震補強工事の年次計画は。

④合併特例債の期限までに全ての耐震補強工事ができるのか。

以上伺う。

教育次長

平成19、20年度に35棟の耐震診断を行った結果、教育施設としての耐震基準1.5値0.6以上0.7未満の建物は、上浦小学校特別教室をはじめ4校。0.3以上0.6未満は鴨島第一中学校校舎をはじめ11校。0.3未満は、鴨島東中学校校舎の教室棟を含む5校となっている。

なお、平成19年度の耐震診断結果は本市ホームページに掲載しており、20年度実施分は近々掲載予定である。

耐震工事の年次計画については、補助率の引き



岡田 光男 議員

遊休農地の対策は

(質問)

市の重要な問題・解消に向けて取り組みたい

(答弁)

質問 農業人口の6割が65歳以上であり、数年もすれば担い手不足は一層深刻になる。農地も減り続け、今後誰が農地を

管理し、誰が食料の生産を担うか本市でも真剣に考えるべきでないか。市の遊休農地に対する基本的な考えや解消に向けての対策はどうなっているのか伺う。

ことが想定される。このため、行政、農業委員会、農協、土地改良区などすべての農業関係機関が解消に向け共通認識のもと、一体となって取り組む必要がある。

農水省も農地の貸借などで耕作放棄地を再生、利用する取り組みに対し支援する強化対策を打ち出しており、今後はこの制度を十分活用したいと考えている。

産業経済部次長

現在遊休農地は、耕作可能な農地が28ha、復元不可能が22haとなっている。解消策として担い手認定農業者等に農地の利用集積を推進している。また、今後遊休農地は、高齢化、後継者不足、相続しても営農できない人々の増加により、ますます増える

再**質問** 他の市町村では耕作放棄地を観光ブルーベリー園やぶどう園などに整備をし、収穫体験や各種イベントも行っている。また、菜種を植えて景観作物とし、菜種油まで販売している。

本市でも、地域活性化



藤原 一正 議員

ごみモデル集積所の設置について

(質問)

資源化の促進に向け反映したい

(答弁)

質問 資源ごみモデル集積所の設置における課題と今後の設置計画について伺う。

状況が出てくるが、持って行けない場合は今までどおりの方法で収集をする。

環境局長

「吉野川市のごみ処理を考える市民会議」の中で、ごみ資源化分科会からの提言に基づいて、金属類、びん類、紙類等の再資源化が可能

な一般廃棄物の回収について、指定された収集日以外でも市民がそれぞれの都合で自己搬入できる利用時間帯の融通性、また、持込時に分類ごとに袋から出してコンテナに入れるため、指定袋が不用になる等の利便性がある反面、山間部においては高齢化が進んでおり、移動手段がなく集積所まで持って行けないという

今後の計画については、平成21年度に旧美郷村で、旧鴨島町、旧川島町についても実施に向け、今回の事例を参考に地域の特性及び地域の方々の意見を十分に反映、周知を徹底し、モデル集積所が地域の中でリサイクルのシンボリックな施設として、合理的で効果的なごみ資源化の促進に向けた事業ができるよう事業運営に反映したいと考えている。

資源化の促進に向け反映したい



耐震工事が行われた校舎

構造耐震指標Isとは…建築物の耐震性能を数値化したもの。

- 0.3未満 大地震時に倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 - 0.3以上0.6未満 大地震時に倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 - 0.6以上 大地震時に倒壊し、または崩壊する危険性が低い。
- (文部科学省では、学校施設に対し、Is値0.7以上の耐震性能を求めています)

上げなど、早期に工事に取りかかれる条件が整った。22年度には0・5未満の建物の耐震改修工事を終えたいと考えており、市長部局と協議中である。

また、合併特例債の期限内には必要な学校施設の改修を終えることができるよう努める。

【その他の質問】

質問 麻名用水堰の撤去について、県の対応は。

答 弁 難しい状況であるが、今後とも努力する。

質問 温暖化防止のための本市の取り組みは。

答 弁 前向きに取り組む。



遊休農地を活用したコスモス畑

臨時交付金制度を利用して遊休農地の解消を図るべきでないか。また、農地情報をホームページに載せる考えはないか。

産業経済部次長 遊休農地の解消対策は担い手を育成し、農地を利用集積していくことが基本的な解決策で、国の施策を十分活用したい。また、農地の貸し借り等の情報提供については、ホームページ等で、積極的に取り組みたい。

再々問 遊休農地の解消が、本市の重要な課題となるのか伺う。

市長 大変重要な問題と認識している。今後遊休農地の解消に向けて取り組みを行っていきたい。

【その他の質問】

質問 向麻山テニスコ場に夜間照明は。

答 弁 今後検討を重ねていきたい。

質問 庁舎一本化を図る最重点是。

答 弁 市民と市職員の一休感を醸成すること。

質問 指定袋以外のゴミ出しは。

答 弁 指定ゴミ袋の廃止は考えていない。

質問 住宅リフォーム助成制度は。

答 弁 市の負担も必要となるので、今後研究してみたい。

【その他の質問】

質問 学童保育の実施状況と今後の計画は。

答 弁 現在は市内11か所で学童保育が実施されており、実施されていない川田小学校区、種野小学校区についてはニーズ調査や要望等により、学童実施に満たされる状況になれば支援を行いたいと考えている。



川田山地区資源ゴミ・不燃ゴミ専用モデル集積場



平成21年6月議会定例会 議案の 審議から

日程：平成21年6月5日～6月25日

6月定例会では、条例関係案1件、予算案1件、専決関係案10件、その他2件が提案され、原案どおり可決・承認されました。

総務常任委員会

平成20年度吉野川市国民健康保険特別会計補正予算

質問 保険者療養給付費の5億5999万円減額の主な理由について説明願いたい。

が昨年流行が無かったためである。

◇異議なしで可と決定

答弁 給付費は全体で5億7000万円の減額となっており、理由としては後期高齢者医療制度が導入されたこと、流行性感冒(インフルエンザ)



吉野川市特別職で常勤のものの給与に関する条例等の一部を改正する条例

質問 夏期一時金の削減の措置は、凍結なのか、削減なのか。

答弁 今回人事院から例年にならぬ勧告で暫定的な措置をすると勧告があり、本市でも対応することとなった。

質問 暫定措置であるならば、予算が約3800万円浮くこととなるが、この財源を他の事業に充当することはないのであるか。

答弁 今回の改正は期末勤手当の支給率について本則で変えるのではなく、附則において暫定的に特別措置を講ずるかたちで対応している。人事院勧告は通常のとおり夏から秋にされ、その中で全体を考えると聞いているのでトータルの話があると考えている。削減した3800万円であるが、今後人事院の勧告が出た段階で考えたい。

反対討論

北川 麦議員

人事院及び人事委員会の勧告については、政治の圧力による調査、勧告であると一部でいわれている。また、人事院調査、人事委員会独自調査のいずれを取っても正確性に欠けている。そして民間の春闘、賃金交渉に大きな悪影響を及ぼし、引いては益々消費マインドを冷え込ませて、地域経済に打撃を与えることとなる。もう一つは、政府が行っている景気対策の考え方と大きく矛盾しているの

で、反対をする。

賛成討論 なし
賛成多数で承認

文教厚生常任委員会

平成20年度吉野川市介護保険特別会計補正予算

質問 8760万円減額している。このことは、介護予防事業における結果であると思うが、今回の減額予算を考えると、なぜ介護保険料を上げたのか疑問である。そこで、繰越金としてどのくらい残り、今年度に使えるのか。

度分を精算しているところであるが、精算の結果、国・県への返還金、保険料の還付金等が発生するので、概算として1400万円程度の積み立てができるのではないかと考えており、これらの処理については、9月補正予算で行いたい。

答弁 現在、平成20年

◇異議なしで可と決定

吉野川市保育所条例の一部を改正する条例制定

質問 山川北保育所の閉所について予測できなかったのか。予測できていれば、現在建設中の山川中学校校舎建築の際に、検討もでき、中学校の敷地を有効に利用できたのではないか。今となっては、保育所の跡地をどのように有効利用するのか。

ており、今後検討し学校施設の一部として使用していきたい。

答弁 閉所後の保育所は、山川中学校と隣接し



閉所になった山川北保育所

◇異議なしで可と決定

産業建設常任委員会

平成20年度吉野川市一般会計補正予算

質問 街路事業費の減額補正額970万円とあるが工事自体は心配ないのか。

答弁 工事費が1億円を超しており、補助対象外の部分として見込んでいたのが補助対象になったのと、請負差額があったので、トータルでは970万円という減額となった。工事は重点管理委託ということで専門に委託しており、きちんとできている。

質問 市内には地すべり地域がたくさんあると思うが、現状の把握や調査はどのようにしているのか。また、山川地区には相当あると聞いているが、要望はあるのか。

答弁 県営事業において地すべり事業を実施し



ているが、市民からここが地すべり地域なのかという問い合わせもあり、その中で地すべり地域の指定を受けている場合には、県と連絡を取り、現地調査を行い、県と協議している状況である。また、今現在は要望箇所は聞いていない。

◇異議なしで可と決定

反対 本会議 賛成

討論

専決処分の承認を求めることについて

吉野川市特別職で常勤のもの給与に関する条例等の一部を改正する条例について

反対討論

岡田 光 男議員

① 公務員の給与等は通常、年度の人事院勧告で決まっておりますが、年度途中、景気の影響で民間の一時金がカットされた年は、冬期一時金で調整してきた。

今回の夏期一時金を事実上削減する勧告は、今までのルールを一方的に踏みこむもので、道理がなく容認できない。

② 人事院の特別調査も極めてござんで、通常1万1千社を対面調査するのに今回は5分の1である2700社の郵送調査をしただけであり、県人事委員会でも調査した76社のうち、夏期一時金の支給額未定が64社で84%がほとんど決まっていない状況である。これは、人事委員会の中立公平な立場を投げ、政府、与党に追従するものと言わざるをえない。

③ 一時金の削減は、内需拡大による景気回復に逆行する。

定額給付金をばらまき、その一方で労働者の懐を冷え込ませる一時金の引き下げは全く矛盾している。

賛成討論

河野 利 英議員

公務員給与（夏期一時金）について、社会一般の情勢に適合したものとなるような措置であることや、国や他団体との均衡の観点から「やむを得ない措置」と考える。

◇賛成多数で可と決定

意見書

■ JR不採用問題の早期解決を求める意見書

提出議員 北川 麦議員

■ 「気候保護法」の制定に関する意見書

提出議員 工藤俊夫議員

■ 生活保護の「母子加算」の復活を求める意見書

提出議員 岡田光男議員

■ 所得税法第56条の廃止を求める意見書について

提出議員 高木 純議員

◇以上全会一致で採択

経済危機対策に 15億9136万円の補正予算

— 学校施設耐震改修や公用車の低燃費低公害車に更新など —

経済危機対策予算の事業概要(6月16日現在、調整中)

(単位:千円)

区分	所属課	事業名	事業内容	概算事業費	備考
地球温暖化対策	教育総務課	太陽光発電システム整備事業	小・中学校に10kwの太陽光発電システムを整備	196,452	公共投資
	総務課	庁舎エネルギー対策事業(冷暖房システム整備)	市役所庁舎の冷暖房システムを、深夜電力を利用する氷蓄熱式・ヒートポンプチラー冷暖房システムに更新	70,000	経済危機
	総務課	低燃費低公害車購入事業	老朽化した公用車を低燃費低公害車に更新(代替バス含む)	35,500	経済危機
少子高齢化対策	学校教育課	学校ICT環境整備事業	デジタルテレビ・電子黒板機能付デジタルテレビ・校務用コンピュータの整備	125,875	経済危機
	教育総務課	地デジアンテナ整備事業	地上デジタルテレビアンテナ整備	2,696	公共投資
	学校教育課	理科教育設備整備事業	新学習指導要領に基づく理科教育備品等の整備	19,000	経済危機
	学校教育課	学校図書の実施事業	学校図書の充実	12,000	経済危機
安全・安心の実現	教育総務課	学校施設耐震整備事業	学校施設耐震改修	714,782	公共投資
	防災対策課	消防ポンプ自動車購入事業	老朽化した消防ポンプ車等の更新	100,000	経済危機
	健康推進課	中核病院高度医療機器等整備事業	地域医療機能の充実を図るため、高度医療機器の整備事業を支援	30,000	経済危機
	情報システム課	基幹系バックアップシステム構築事業	住基・税等電算システムのバックアップシステム構築	8,600	経済危機
	建設課	道路・排水路・河川等整備事業	道路・排水路・河川等の整備	150,000	経済危機
	学校教育課	新型インフルエンザ対策事業	新型インフルエンザの影響による修学旅行のキャンセル料等を補助	1,638	経済危機
	子育て支援課	老朽化施設解体撤去事業	山川北保育所の解体撤去	10,000	経済危機
その他	生涯学習課	公民館等整備事業	公民館や文化研修センターの冷暖房設備等の整備	9,100	経済危機
	商工観光課	公園施設整備事業	鴨島公園のデッキボート改修	6,900	経済危機
	商工観光課	温泉施設整備事業	温泉施設の整備	15,500	経済危機
	農林業振興課	林道整備事業	林道の開設及び舗装	60,620	公共投資
	監理課	発注管理システム等構築事業	入札関係の発注管理等を行うシステムの構築	14,200	経済危機
	商工観光課	ふるさと雇用再生特別交付金事業	キレイのさと美郷ブランド推進事業	1,379	緊急雇用
商工観光課	ふるさともてなしステーション事業		1,689	緊急雇用	
子育て支援課	保育所雇用促進事業		1,940	緊急雇用	
環境企画課	生活環境やさしさ事業		3,493	緊急雇用	
合 計				1,591,364	

市民のページ

一粒の米

山川町川田 原田 親光

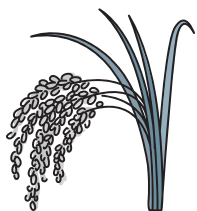
昔から、わが国は豊葦原瑞穂の国といわれ風土、気候に適した世界に誇る優秀な米の産出国だ。主食として今日に至り日本人の勤勉と潔白の特性をつくってきた。少しでも多く田を耕し、日本人の食べる米は日本人が作るという気迫は棚田にも表われている。そして、世界の食の状況はいま決して他国の食糧を当てにしているのではない。

江戸時代末期、偉大な農業経済学者大原幽学は、「もし一粒の米に四年の時を与えれば、全日本の人、二十三年間の糧になる。」と言った。事実、稲一本の穂に、八十から百五十粒ぐらい粒がつく。また、一本の稲を植えると、十三から

十五本の株がつく。収穫時、一株の各穂に百粒として千三百粒だ。二年目に、その種子を全部まくと本数は一万六千九百株、総収穫粒は各々一つの穂は百六十九万粒だ。三年目は、それを全部まくと二百九十七万株で収穫総粒数は二十一億九千七百万粒となる。ふつうの米では、一升に約六万五千粒から七万粒だ。一俵四斗入りとしてその四十倍、つまり一俵の米粒の数は約二百六十万粒となる。二年目は一俵もとれないが三年目には米粒の総数二十一億九千七百万粒だから八百四十五俵の米が収穫される。大人が一日三合ずつ食べるとしても約三百年間も食べられる

勘定だ。

今、世界で飢餓に苦しむ人々への人道支援は緊急事態だ。とにかく食べる物がなくては生きられない。しかし、支援を求めぬ。米が米でなく金が欲しいというが指導者のエゴだ。わが国は借金財政で困っているが農地はある。かつての戦争下米不足でいかに苦しんだか忘れてはいない。自国の農家を育て海外援助の政策には米作りが大切だ。また、低収入者への最低生活にも米の確保で安全保障がある。主食の自給率を高め海外支援の道を探ることは環境保全にもなり雇用救済にもなる。一粒の米もまかねば偉大な力にはならぬのだ。



「自治会の活性化で

住んで嬉しい町に」

鴨島町鴨島 大村 秀雄

袖すり合うも多生の縁道を通じて袖が触れ合う程度のこと、偶然でなく、前世からの因縁によると、ことわざでいわれるように昔は近所づきあいを大事にしたが、今は自治会の加入さえ、その家まかせである。

確かに、核兵器のない世界・地球温暖化対策・世界の恐慌など気がかりいっぱい世の中に、何のご利益もない自治会活動などと言われそうだが、此処に住んでよかつたと体感できる地域づくりの積み上げは今こそ必要だ。

自治会活動では、人それぞれの特技や取組む姿勢のよさ、気軽に参加を呼びかけできる近所の温もりを感じる人が多い。

自分たちが居住する西郷地区が市内で一番先に自主防災組織を立ち上

げ、引き続き防犯活動も含めた安全・安心の取組を推進するの地域づくりの基盤には欠かせない。

これも祭りの屋台に係わりをもつ若連が三つの自治会に繋がりをもち、家族が同一敷地内で居住している家庭が多いのも地域のふれあいや活動推進の一因かも知れない。

近くには、鴨島公民館・文化研修センター・鴨島公園・民間のカルチャーセンター・吉野川遊園地もあり、文化を通じて交流を深めれば、市内の文化ゾーンにするのも夢ではない。遠くの親類より近くの他人 自治会活動で誰とでも気軽に言葉を交わせるようになったのが、今は一番嬉しい。



本会議・委員会の傍聴をしませんか



皆さんが選んだ議員の活動や行政が今、どのようなことを行っているかを知っていただくために、本会議などの議会の傍聴をしませんか。どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

TEL 22-2241

クイズ

なんと読むのでしょうか？

- ① 茗荷
- ② 大蒜
- ③ 南瓜
- ④ 獅子唐
- ⑤ 秋葵
- ⑥ 蕃茄
- ⑦ 胡瓜
- ⑧ 玉蜀黍

◎ 正解者の中から抽選で10名に記念品を進呈します。

◎ 応募要領／はがき、またはファックスに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。

◎ 応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか？次号で紹介します。

◎ 送り先／〒776-8611

吉野川市鴨島町鴨島115番地1

TEL0883-22-2241

FAX0883-22-2242

◎ 締め切り日／平成21年10月9日（消印有効）

チョットひと言

◇ 家族で脳トレと実益を兼ねてチャレンジしています。

◇ 難しかったですね。

◇ いつも楽しみにしております。

（東かがわ市 橋本さま）

◎ （前回の回答）

①うわごと ②こより ③ほのぼの ④ひたすら

⑤へど ⑥ほら ⑦まぶか ⑧ゆすり

⑨あいくち ⑩まなじり

応募総数は69通でした。

表紙の写真募集

募集要項

- テーマ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など
- 規定** モノクロ及びカラープリント2L判～四切・W四切組写真も可(3点まで)住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 締め切り** 平成21年10月9日(消印有効)
発行は11月です。季節感のあるものをお願いします。
- その他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用及びトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応募先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
吉野川市議会広報特別委員会「表紙写真」係
TEL(0883)22-2241 FAX(0883)22-2242

この季節に毎年心配なのが台風のことである。近年、台風発生直後の天気図を見て、まず気になる特徴が、四国沖の海上にて発生する台風の数の多さである。四国沖の海上にて発生した台風の多くは、勢力を保ったまま上陸するため、甚大な被害が出やすいのが特徴である。このような現象は、地球温暖化による海水温の上昇が原因ではないかと言われているが、このことひとつ取っても一刻も許されない。地球温暖化対策が必要なのは誰も



が思うことである。まず一人ひとりができることからやっていく、それが大切なのではないかと思う今日、この頃である。子どもや孫にすばらしい環境を残すためにも、今後、環境対策、温暖化対策にしっかりと取り組んでいかなければならない!!
まさに、待ったなしの地球温暖化問題!!である。
川村 洋樹

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。ファックスでも結構です。

市民の皆さんの声を掲載

：規定：

：あて先：

- 原稿用紙2枚以内（400字詰）
- 住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記（匿名の場合も）
- 締め切り
- 平成21年10月9日（消印有効）
- * 投稿多数等で掲載できない場合は、ご容赦ください。校正等は、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

〒776-8611

吉野川市鴨島町鴨島115番地1

TEL0883-22-2241

FAX0883-22-2242

